

# 校内研修計画

甲州市立松里小学校

## 1 学校課題

本校では、昨年度まで2年間、「特別の教科 道徳」に関する研究を行ってきた。1年目は青少年赤十字活動の研究指定を受けており、赤十字の態度目標である「気づき 考え 実行する」の理念に基づいた道徳の実践を行った。2年目は前年度までの研究を基に、「考え、議論する道徳」を念頭に置いた研究を行い、子どもたちが多様な考えに触れ、その価値を受け入れることでお互いを認めあい、つながりを意識できるようになった。

2年間の研究の中で、内藤雅人先生の師範授業を二度も見せていただいたことは、大きな学びとなった。「発問を吟味すること」「児童の考えを拾うこと」「板書の工夫をすること」そして、役割演技等の「体験活動を生かすこと」など、読み物道徳から脱却し、問題解決型の学習、体験的な学習の方法について学ぶ良い機会となった。その成果もあり、研究授業や一人一実践では、発問や授業展開に工夫が見られ、子どもたちから多様な考えや価値観を生み出すことができた。また、甲州市確かな学力育成プロジェクト授業研究会で盛山隆雄先生の提案授業を参観したことも実りの多いものとなった。子どもたちからの問いに「さらに教師が問い返し考えさせること」、子どもたちからのアイデアを「丁寧に聞き取ること」、「誤答を大事にすること」等、知識を教え、伝えるだけではなく、子どもたちから出る問いや考えから授業を展開する方法に感銘を受けた。内藤先生、盛山先生ともに、道徳科、算数・数学科における「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」をテーマにした授業であった。

本校の子どもたちは、同学年はもとより、異学年集団で活動してもまとまりがある。子どもたちの素直さだけでなく、Q-U分析をもとにした学級づくり、アタックシートから進める個や集団への対応策等、日頃の学級指導に生かされ、まとまりのある学級集団が出来上がった。また、昨年度までの研究で話し合いや学び合いを授業の中に組み込んだことも効果があった。よりよい集団が形成された一方、全国学力・学習状況調査やNRT、知能検査等の結果を見ると、知識・理解に課題が見受けられ、日々の授業の中で、時間内に目標に到達できていない児童がいることが分かる。

そこで、今年度は、昨年度までの研究を基に研究を深めたい。①考え、議論する道徳科の授業実践を生かして、各教科等でも主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をすること、②甲州市ティーチャーズノートの活用、学習規律の徹底、あいさつウィークの実施、家庭学習の取組等、本校が積み上げてきた取組を精選・改善すること、そして、③市の取組であるQ-U分析からよりよい学級集団をつくること、以上3つの取組から、本校がめざす児童を育成していきたいと考えている。

## 2 研究主題

確かな学力の定着・向上につながる学びあえる集団づくり  
～主体的・対話的で深い学びを意識した授業を通して～

## 3 主題設定の理由

平成29年告示の学習指導要領解説総則編では、「確かな学力」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について以下のように示している。

「確かな学力」

- ・児童が確かな学力を身に付けることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養を目指す教育の充実に努めること。

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

- ・各教科の指導に当たって、(1) 知識及び技能が習得されるようにすること、(2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること、(3) 学びに向かう力、人間性等を涵養することが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと、その際、各教科等の『見方・考え方』を働かせ、各教科等の学習の過程を重視して充実を図ること。

また、中央教育審議会答申において以下の三つの視点に立った授業改善を行うことが示されている。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

本校では、昨年度、道徳科において上記三つの視点に関わる研究を行っていた。①については、ねらいを示し展開したこと、一枚ポートフォリオに感想等をまとめいつでも振り返りができたこと、②については、ペアやグループで協働場面を入れたこと、③については、役割演技を入れ想像を膨らませたこと、2年間の研究は大きな成果があった。

そこで、今年度は、道徳科の授業だけでなく、各教科等でも、主体的・対話的で深い学びを通じた授業から、確かな学力の定着・向上をめざし、本主題を設定した。

#### 4 研究仮説

学びあえる集団をつくり、各教科等で主体的・対話的で深い学びを意識した授業を行うことで、子どもたちの確かな学力の定着・向上を図ることができるであろう。

#### 5 研究内容と方法

##### (1) 具体的な研究内容

###### ○授業づくり、授業改善

・授業の構造化と板書について・ノート指導・「主体的・対話的で深い学び」について授業方法

###### ○学級づくり、集団づくり

・Q-U検査とK-13法の実施 ・あいさつ ・学習規律 ・授業におけるルール

###### ○保護者、地域住民との連携

・松小かがやきノート (方法・家庭からのコメント等も含めて)

##### (2) 研究の方法

###### ○主体的・対話的で深い学びについての研修

・講師を招いての理論研修 ・授業研究会への参加(確かな学力育成プロジェクト)

###### ○研究授業(1本) ○一人一実践

## 年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任 岡村 澄人

| 月 日 | 内容 | 備考1 | T. C要請 |
|-----|----|-----|--------|
|-----|----|-----|--------|

|       |                           |       |   |
|-------|---------------------------|-------|---|
| 4/ 8  | ①研究主題の提案・決定               | 全体会   |   |
| 4/17  | ②研究主題・仮説・内容と方法・研究計画の提案・決定 | 全体会   |   |
| 4/24  | ③確かな学力Pへの取り組みについて         | 全体・部会 |   |
| 5/13  | ④全体の研究内容・計画・部会の研究計画       | 全体・部会 |   |
| 5/27  | ⑤Q-Uの分析・授業者決定             | 全体・低高 |   |
| 6/ 3  | ⑥ティーチャーズノートについて           | 部会    |   |
| 6/17  | 学力P講演会（藤川章先生）             | 全員参加  |   |
| 7/ 1  | ⑦「主体的・対話的で深い学び」学習会        | 全体会   |   |
| 7/ 3  | 学力P講演会（鹿島真弓先生）            | 全員参加  |   |
| 7/ 8  | ⑧一人一実践について                | 全体会   |   |
| 8/18  | ⑨「主体的・対話的で深い学び」学習会        | 全体会   | ○ |
| 9/ 2  | ⑩教育課程還流報告                 | 全体会   |   |
| 9/30  | ⑪部会ごとで話し合い                | 部会    |   |
| 10/ 7 | ⑫授業案検討                    | 全体会   |   |
| 10/14 | 学力P講演会（盛山隆雄先生）            | 全員参加  |   |
| 10/21 | ⑬授業案検討                    | 全体会   |   |
| 10/28 | ⑭Q-Uの分析                   | 低高    |   |
| 11/11 | ⑮研究授業                     | 全体会   | ○ |
| 12/ 4 | 学力P講演会（河村茂雄先生）            | 全員参加  |   |
| 12/ 9 | ⑯確かな学力Pの取り組みの反省           | 全体会   |   |
| 1/20  | 学力P・市P連講演会（山縣然太朗先生）       | 全員参加  |   |
| 1/27  | ⑰今年度の総括・研究紀要について          | 全体会   |   |
| 2/17  | ⑱研究紀要の作成Ⅰ                 | 全体会   |   |
| 2/24  | ⑲研究紀要の作成Ⅱ                 | 全体会   |   |
| 3/ 2  | ⑳本年度のまとめ                  | 全体会   |   |